

2020 さがえトライアスロンフェスティバル競技規則（スタンダード・スプリント）

概要	本大会の競技規則は、一部ローカルルールを除き、JTU が定めるトライアスロン競技規則に準ずる。(2019 年 1 月改訂版)		
選手要件	スイム競技+バイク競技+ラン競技を連続で行いタイムを競う		
スタンダード	18 歳以上で完走できる健康な男子・女子(令和 2 年 12 月 31 日現在)		
スプリント	高校生以上の健康な男子・女子(大会日の就学学年とする) パラカテゴリー器具の使用を許可する。その場合本大会パラ競技規則に準じる。		
競技内容	(スイム競技+バイク競技+ラン競技を連続で行いタイムを競う)		
スタンダード	スイム 1.5km(2 周回)	バイク 37km(5 周回)	ラン 10km(4 周回)
スプリント	スイム 0.75km(1 周回)	バイク 22.2km(3 周回)	ラン 5.2km(2 周回)
バイク・ランの走行時はキープレフトを基本とする。コーナー・折返しでの追い越しを禁止する			
競技の変更・中止	競技エリアの状態 天候等により競技内容の変更 中止をする場合がある。 その場合、その内容を競技 1 時間前に管理棟前公式ボードに掲示する。 競技役員は、選手の競技続行が当人の健康を害すると判断する場合には、 競技を辞めさせる権限を持つ。		
制限時間	スイム競技 (上陸地点)	バイク競技 ディスマウント(降車)ライン	ラン競技 総合フィニッシュ
スタンダード	60 分	170 分	230 分
スプリント	30 分		
ドラフティング	本レースはドラフティング禁止レースである。 ドラフティングエリアは前輪先端より後方 10m、 競技カテゴリーを問わず違反は 2 分(スプリント 1 分)のタイムペナルティーを ペナルティーボックスで受ける。		
ペナルティー	タイムペナルティーは 15 秒間(スプリント 10 秒)とする。 ペナルティーボックスはランコース上に設置する。(該当選手のレースナンバー掲示) 該当の選手は、自主的にペナルティーボックスに入ること。 悪意の違反危険行為は失格の対象となる。 該当の選手がペナルティーボックスに入らずフィニッシュした場合は失格となる。		
競技説明会	当日の競技説明会への参加を義務とする。		
ウェア・用具	全選手は大会側提供のスイムキャップを使用すること。 ●ウエットスーツの使用を推奨する。(参考 2018 5/27 気温 25.4℃水温 22.2℃)水温 15.9℃以下着用義務 水温をスタート 1 時間前に計測発表する。 レースナンバーは、バイク競技は背面、ラン競技は前面につけること。 指定箇所へのボディマーキング及びヘルメットステッカーを貼ること。 ●使用制限用品 安全の為に瞬間膨張浮力具(チューブ)の着用を認める。ただし、膨張使用した場合 DNF 扱いとし、参考記録として競技を継続できる。		
計測	計測用チップを使用する(足首アンクルバンド)		

2020 さがえトライアスロンフェスティバル競技規則（スタンダード・スプリント）

トランジション	<p>マウント(乗車)ラインの手前での乗車・デismount(降車)ラインを過ぎての降車には警告と是正をうながす。是正されない場合ペナルティの対象となる。</p> <p>ヘルメットのストラップを締めてからバイクをラックから外し、バイク競技終了後各自のラックにバイクをかけてからストラップを外すこと。</p> <p>トランジションエリア内は乗車を禁止する。</p> <p>パラカテゴリーの選手はパラトライアスロンの競技規則に準ずる</p>
---------	--

トライアスロン競技規則(スタンダード・スプリント) ■スイム	
コース	スイムは、1周 750m のコースとする。(スタンダード 2 周スプリント 1 周)
スタート	スイムスタートはフローティングスタートを採用する。人数カテゴリーによりウエーブスタートする。周回時は上陸すること。(TRI-1 選手は規定水路を周回)
エード	給水エードをスイムスタート地点(上陸スロープ脇)に設置する

トランジション エリア	<p>堤防上管理棟脇駐車場にトランジションエリアを設置する。</p> <p>スイムからトランジションエリアまでは約 200m のミニランがある。(ミニランは基本裸足)</p> <p>パラカテゴリーの選手のみプレトランジションエリアを設定する。</p>
----------------	---

トライアスロン競技規則(スタンダード・スプリント) ■バイク	
コース	バイク競技は、1周 7.4km のコースとする。(スタンダード 5 周スプリント 3 周)
基本	キープレフトを基本とし、右側に追い越しエリアを確保する(周回コースの為 厳守)。斜行等の危険走行、ブロッキングは、ペナルティの対象とする。追越し・車線変更時 互いに声を掛け合うこと。
周回チェック	周回終了の誘導は行わない。各自で周回数を確認すること。折返しにおいて目視にて周回確認を行う。
バイクエード	給水エードを設置する 安全に停止した選手への手渡しのみとする。

トライアスロン競技規則(スタンダード・スプリント) ■ラン	
コース	ラン競技は、1周 2.4km のコースとする(スタンダード 4 周スプリント 2 周)
基本	追越し・車線変更時 互いに声を掛け合うこと。
周回チェック	周回確認用ゴムバンドを配布する。 (スタンダード 4 本 スプリント 2 本もらったら総合フィニッシュへ)。

その他	大会会場内では 刺青(タトゥー)は露出させないように隠すこと。
-----	---------------------------------